

テーマは「農業産出額」（令和5年）

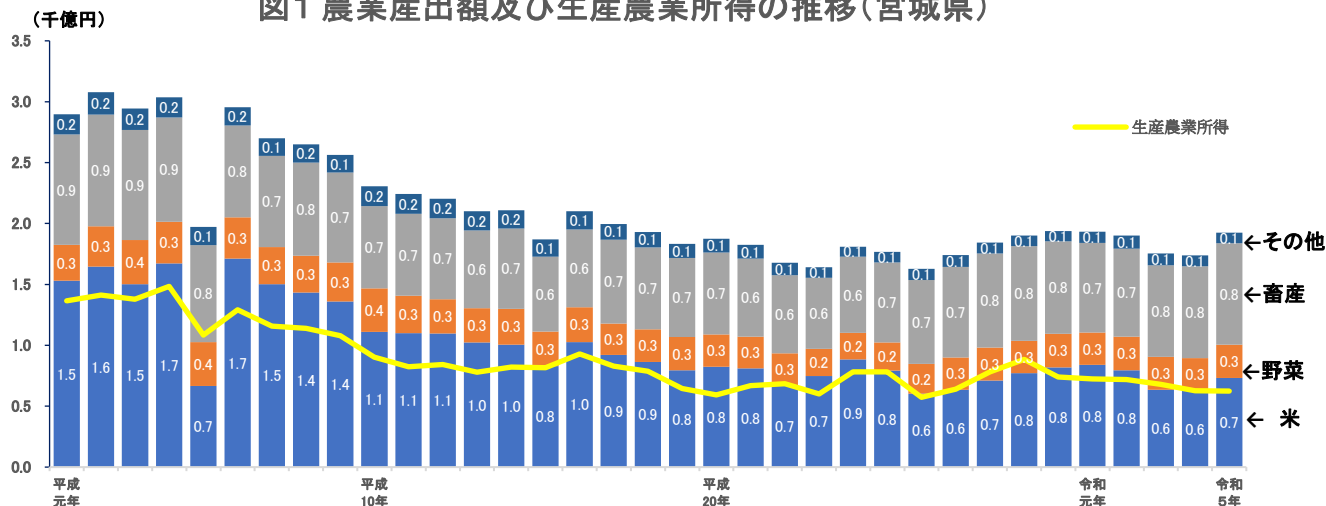
宮城県の農業産出額は前年比10.8%増加

令和5年の宮城県の農業産出額は1,924億円で、前年の1,737億円から187億円（10.8%）増加しました。また、生産農業所得は624億円で、前年の626億円から2億円（0.3%）減少しました（図1）。

注：「都道府県別農業産出額」は、都道府県を推計単位とし、品目ごとの生産数量に品目ごとの農家庭先販売価格（消費税を含む。）を乗じて推計したものです。

また、「生産農業所得」は、農業産出額から物的経費を控除し、経常補助金（生産者に対して支払われるものであること、生産者の経常経費を賄うために交付されるものであること、農産物の市場価格を低下させると考えられるものであることの3つの条件を満たす補助金）の実額を加算したものです。

図1 農業産出額及び生産農業所得の推移（宮城県）



農業産出額の動向と部門別割合

宮城県の農業産出額は、前年に比べ187億円

（10.8%）増加しました。これは、米部門が101億円、畜産部門で81億円増加したためです（図2）。

部門別の農業産出額の割合をみると、米部門が増加し、豆類・野菜部門が減少しました（図3）。

図2 前年からの動き1（実額）

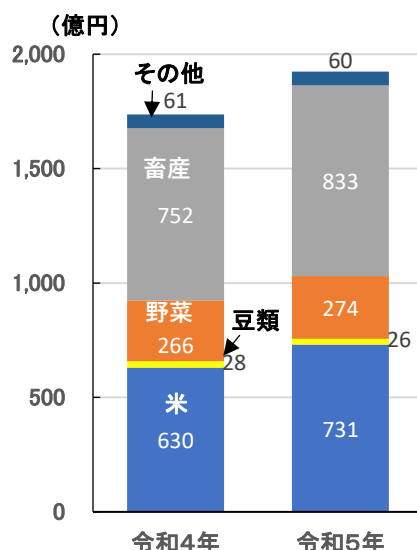
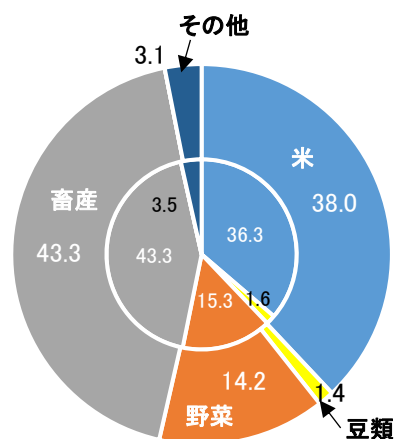


図3 前年からの動き2（割合）



注：円グラフは各部門の構成割合（%）で、外円は令和5年、内円は令和4年。



主要各部門・県内上位10位品目の農業産出額

宮城県の主要部門及び県内上位10品目の農業産出額は、下表のとおりである。
大豆は、全国の第2位、米・肉用牛は全国の第5位となっている。
肉用牛以外の畜産については、全国の10位台、野菜部門では、いちごが全国で第10位のほか、きゅうり、ねぎについても全国の10位台となっている。

表 部門・品目の農業産出額及び全国順位(宮城県・令和5年)

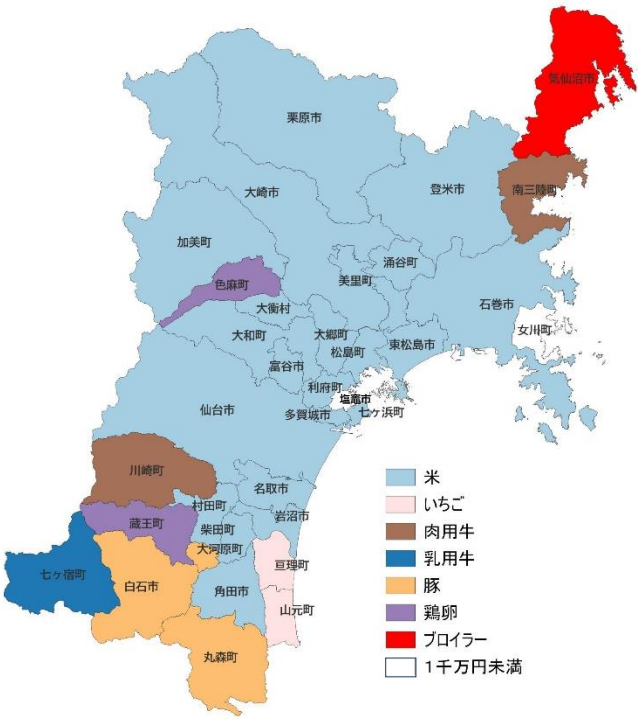
部門	品目	億円	順位	部門	品目	億円	順位
米	米	731	5	肉用牛	肉用牛	253	5
豆類	-	26	3	乳用牛	-	129	10
	うち 大豆	26	2		うち 生乳	125	10
野菜	-	275	29	豚	豚	140	16
	うち いちご	67	10	鶏	-	309	16
	うち きゅうり	33	12		うち 鶏卵	231	16
	うち ねぎ	32	15		うち ブロイラー	64	13



市町村別農業産出額の1位部門(令和4年)

図4 市町村別農業産出額の1位部門(令和4年)

○宮城県内35市町村における令和4年の農業産出額1位部門・品目については以下のとおりである。
○米が1位の市町村は22市町村、野菜（いちご）が1位となっている市町村は2町（亶理町、山元町）となっている。
○畜産部門が1位となっている市町村は9市町村あり、内訳は、肉用牛が川崎町、南三陸町の2町、乳用牛が七ヶ宿町の1町、豚が白石市、大河原町、丸森町の3市町、鶏卵が蔵王町、色麻町の2町、ブロイラーが気仙沼市の1市となっている。
○塩竈市、女川町については、産出額1千万円未満の市町となっている（図4）。



※「令和5年市町村別農業産出額」は、令和7年3月公表予定となっています。